

# 野鳥のヒナ I



## Q. 羽の生えていないヒナが巣から落ちていて保護をしたけどどうしたらいい？

- A. 巣がわかりますか？巣がわかれば手袋やハンカチで優しく持ち、巣にもどしてあげてください。戻すことができないような場所に巣があればその近くにカップラーメンの容器やかごを使って代わりの巣を作って様子を見てください。もしかしたら親鳥が餌を運んでくるかもしれません。このとき人間が近くで見ていると親鳥は怖くて近づけませんので少し離れたところからそっと様子を見守ってあげてください。

## Q. ヒナが何度戻しても巣から落ちてしまう。どうしたらいい？

- A. 巣立ちヒナ以外が巣から落ちてしまう原因は様々です。ほかの生き物の襲撃にあったり、兄弟の間で生存競争に負けて落とされてしまうこともあります。本来野鳥の住む世界では強く育ったものだけが大きくなることができ、弱い子は死んでしまうことがほとんどなのです。ですが、死んでしまってもほかの生き物の食糧となり、次の命につながっているのです。なのでヒナが落ちてしまっても人為的原因（人間が故意におとす）以外は見守ることが大切なのです。どうしても気になってしまう方は何度でも巣に戻すか、代わりの巣を作ってみてください。あまり関わりすぎると逆に親鳥が怖がってしまい、子育てそのものをやめてしまう可能性もあります。見守るということが一番鳥たちのためになっているのかもしれない。

## Q. 巣の中のヒナがカラス（ヘビ）又はほかの鳥に襲われている。どうしよう？

- A. 私たち人間が食事をするように、カラスやヘビなども肉や卵を食べなければ生きていけません。小さなスズメやツバメなども虫を食べて生きています。人間の勝手な考えで食物連鎖に手を出すことはよくありません。気になると思いますがそのままにしてください。また、そこに巣があるとまた同じことが起こる可能性が高いので、巣に卵やヒナがない時期に巣を撤去してください。

## Q. 巣立ち前の鳥のヒナを拾った。自分で大きくなるまで育てて、

### 野生に放したい。どうしたらいい？

- A. 日本の野鳥を飼うことは「鳥獣保護法」で禁止されています。一時的でも基本的にはだめです。また、きちんとした専門知識のない状態で育てると栄養障害になったり、餌の誤嚥をしてしまったりと、ヒナをさらに苦しめることとなります。無事大きく育てても警戒心がなかったり、餌をとることができないまま放してしまえばそのヒナの未来はいいものにはならないでしょう。また餌も鳥の種類で大きく違ってきます。ペットショップで販売している餌は野鳥のために作られた餌ではないので、応急処置や少しの間なら大丈夫ですがヒナを育てるには適していません。拾った日が近ければすぐに巣を探してみてください。少し時間が経ってしまっているようなら、一度保護センターの方へご相談ください。